

2024 年度 第 7 回  
ホテル・マネジメント技能検定

2 級	学科試験
-----	------

## 問題用紙

**実施日:**2024年9月8日(日)

**試験時間:**90分

**注意事項**

1	問題用紙は、試験監督者の指示があるまで開かないでください。
2	試験監督の指示の後、問題用紙、解答用紙、配付資料のそれぞれの表紙に受検番号(10桁)、氏名を記入してください。解答用紙に受検番号(10桁)、氏名のないもの、間違ったものは失格になります。
3	解答用紙、配付資料は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。問題用紙は持ち帰って結構です。解答用紙を試験終了後、試験会場から持ち出した場合は失格になります。
4	問題用紙、解答用紙、配付資料の材料は外さないでください。
5	問題用紙配付資料への書き込みは許可されています。
6	問題はすべて、2024年4月1日の時点ですでに施行(法令の効力発効)されている法律に基づいて解答してください。
7	印刷不明瞭や乱丁・落丁があった場合には、申し出てください。
8	携帯電話、スマートフォンなどの通信機能を有する機器は、電源を切ってカバン等へしまってください。試験時間中に携帯が鳴った場合は、本人の同意を得ず、試験監督が携帯の入ったバッグ等を試験場外に持ち出します。この場合、その携帯を保有する受検生は失格となることがあります。
9	机の上には、受検票、筆記用具、時計、計算機(電卓)以外のものは置かないでください。通信機能、辞書、メモ機能がついている計算機・時計等の使用を認めません。上記機能が付いている場合、又はその疑いがあるものについては試験時間中、上記記載の機能の有無について尋ねたり、試験監督の方で預かることがあります。この場合は、試験監督の指示に従って下さい。なお、計算機を忘れた場合には、試験の問題は手計算をお願い致します。
10	不正防止のため、試験監督者が持ち物の提示を求める場合があります。
11	試験問題の音読は慎んでください。電卓を使用する際は、大きな音をたてないようにしてください。
12	試験開始の30分経過後は退室できます。ただし、試験時間終了の10分前は退室できません。
13	退室の際は、解答用紙を裏返し、配付資料を机の上に置き、忘れ物がないように荷物を持って退室してください。なお、退室後は廊下等での私語は慎んで、速やかに退館してください。

受検番号	氏名

一般社団法人 日本宿泊産業マネジメント技能協会

問 1. 「貸借対照表等式」の説明について正しいものを選びなさい。(配点:2点)

- ① 資産+純資産=負債    ② 資産+負債=純資産    ③ 資産=負債+純資産
- ④ 資産=負債-純資産

問 2. 「GOP (Gross Operating Profit)」の説明について最も適当なものを選びなさい。(配点:2点)

- ① ホテルの売上高から営業部門のみで要した費用を差し引いた収益
- ② レストランなどの売上から食材費を差し引いた収益
- ③ 償却前営業利益からローンの利子や税金、減価償却費などを差し引いた収益
- ④ ホテルの減価償却費などの固定資産などにかかる経費を控除する前の営業利益

問 3. 損益計算書で GOP 利益前に控除される経費として適切なものを選びなさい。(配点:2点)

- ① 火災・地震保険料    ②都市計画税    ③運営委託料    ④修繕費(大規模でないもの)

問 4. 業務指標とは経営・運営の業績評価において重要な指標であり特に主要な業績指標を「KPI」という。KPIについて正しいものを選びなさい。(配点:2点)

- ① Key Point Indicator    ② Key Period Indicator    ③ Key Performance Indicator    ④ Key Profit Indicator

問 5. 減価償却費の対象とならない資産として正しいものを選びなさい。(配点:2点)

- ① 土地    ② 建物    ③ 設備    ④ ①から③すべてが対象

問 6. 厚生労働省が公表した今年6月の「毎月勤労統計調査」における、実質賃金と名目賃金に関する前年同月比の説明として適当なものを選びなさい。(配点2点)

- ① 名目はアップ、実質はダウン    ②名目はダウン、実質はアップ    ③名目・実質ともにダウン
- ④ 名目・実質ともにアップ

問 7. 日本人の一人当たりの国民総生産は先進国の中でどのレベルにあるか。(配点:2点)

- ① 上位5カ国以上    ② 上位6カ国以下かつ10カ国以上    ③ 上位11カ国以下かつ15カ国以上
- ④ 16位以下

問 8. 令和 6 年版の観光白書によれば国内の宿泊業の労働生産性は全産業の平均と比較した場合どのレベルか。(配点:2 点)

- ① 120%以上 ② ほぼ同等 ③ 90%程度 ④ 70%以下

問 9. レベニューマネジメントと同義なものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① イールドマネジメント ② コストマネジメント ③ リザーベーションマネジメント  
④ 上記のいずれでもない

問 10. レベニューマネジメントを導入した最初の産業を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 宿泊 ② テーマパーク ③ 航空 ④ いずれでもない

問 11. レベニューマネジメントに最も適しているホテルを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 客室タイプが多様な 5 スターの高級ホテル ② 客室タイプが均一的なビジネスホテル  
③ 隣接するコンベンション施設に客室需要が依存するリゾートホテル ④上記のいずれもあてはまる

問 12. あるビジネスホテルの客室のレベニューマネジメントの手法として、稼働が数か月前からすぐ埋まるようなことはないが、稼働率着地点が 90%見込みの宿泊日において、下記のうち、どれが妥当であるか。なお、このホテルのキャンセル料は、特に説明のない限り宿泊当日の 1 日前から発生する。(配点:2 点)

- ① 宿泊日の相当前の期間はキャンセル不可な割安価格で予約受注を開始し、稼働を上げながら徐々に単価を上げ、残室数が減ってきたら宿泊日当日に向けて、なるべく高値で売る。  
② 市場内における競合他社の値動きや稼働状況に惑わされる必要はない。  
③ トラベルエージェントに半年以上前にほとんどの客室を提供し販売を任せ、宿泊当日の 2 週間前に売れ残り分を最安値で提供して空室を出さないようにする。  
④ 直前のキャンセルに備えて、オーバーブッキングはいくらあっても取りすぎることはない。

問 13. 主にレストランメニューエンジニアリングなどで採用されている ABC 分析に関する説明として適当でないものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 商品全体の売上げや販売個数などのデータを順に並べて構成比を算出しランク分けする分析方法  
② 売上比率上位が C にランクされる ③ ランク C の商品がメニューから外される対象となる  
④ 売上に焦点をあてるため、コスト・粗利に関する視点が欠落している

問 14. 通常のリスク・リターン関係（ハイリスク・ハイリターン、ローリスク・ローリターン）を前提とする場合、ホテル会社（オペレーター）が受け取る利益金額に関する説明として適切なものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① ホテル運営委託契約の場合よりも賃貸借契約の場合の方が高い金額を期待する  
② 賃貸借契約の場合よりもホテル運営委託契約の場合の方が高い金額を期待する  
③ ホテル運営委託契約と賃貸借契約の間では特に期待金額に違いはない  
④ 上記①～③のいずれも適切でない

問 15. ホテル運営委託契約に規定される競合条項（一定範囲の地域における同一ブランドの複数進出を制限する条項）に関するオペレーターの意向として適切なものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① より広い範囲における制限エリアの設定を主張する傾向がみられる  
② より細分化された範囲における制限エリアの設定を主張する傾向がみられる  
③ 同じ国内であれば同一ブランドを最大 5 店舗まで出店が可能である  
④ 一般的にオペレーターは制限エリアの範囲には無関心になっている

問 16. アコーの運営するホテルブランドではないものはどれか。(配点:2 点)

- ① フェアモント ② ラッフルズ ③ コンラッド ④ メルキュール

問 17. マリオットの運営するラグジュアリーブランドではないものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① セントレジス ② リッツカールトン ③ アロフト ④ ブルガリ

問 18. 2023 年末時点で、世界でもっとも多く会員数を誇るロイヤルティプログラムを擁するホテルチェーンを選びなさい。(配点:2 点)

- ① ハイアットホテルズ ② ヒルトン・ワールドワイド ③ マリオット・インターナショナル  
④ インターコンチネンタルホテルズグループ

問 19. 問 18 の正答のホテルチェーンの会員組織の規模はどのくらいか。(配点:2 点)

- ① 5 千万人 ② 1 億人 ③ 1.5 億人 ④ 2 億人以上

問 20. 下記のオンライン業者で他と性質が異なるのを選びなさい。(配点:2 点)

- ① Booking.com ② Agoda ③ Expedia ④ Trivago

問 21. ホテルの設備について正しいものを選びなさい。(配点：2 点)

- ① ホテルの客室の空調は、ルームエアコンが最も快適である。  
② ホテルの客室の空調は、ビルマルチ方式の冷暖フリーが最も快適である。  
③ ホテルの客室の空調は、4 管式空調方式が最も快適である。  
④ ホテルの客室の空調は、換気方式が最も快適である。

問 22. 消防法（昭和 23 年法律第 186 号）に関する記述として正しいものを選びなさい。(配点：2 点)

- ① 「防災管理者」とは、多数の者が利用する建物などの「火災等による被害」を防止するため、防火管理に係る消防計画を作成し、防火管理上必要な業務（防火管理業務）を計画的に行う責任者をいう。  
② 「防火管理者」とは、大規模・高層の建築物等（防災管理対象物）において、地震その他の「火災以外の災害」による被害を軽減するため、防災管理に係る消防計画を作成し、防災管理上必要な業務（防災管理業務）を計画的に行う責任者をいう。  
③ 「特定防火対象物」に該当する旅館、ホテルは、年 2 回の消防用設備の点検と所轄消防署への 1 年に 1 回の点検結果の報告が義務付けられている。  
④ 「適マーク制度」とは、宿泊施設からの申請の有無にかかわらず、消防機関が職権で、消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合しているかどうかを審査した結果、基準に適合していると認められた建物に対し交付する制度である。

※問 23 から 30 は日本経済新聞の 8 月 9 日付朝刊記事である（2024 年 6 月を含む数値は速報値ベース、一部原文より編集）。下記の設問に答えなさい。

6 月の訪日外客数は、【㉞】万人となり、前年同月比では 51.2%増、2019 年同月比では 8.9%増となった。単月として過去最高を記録し、上半期の累計においても、【㉜】万人となり、過去最高を記録した 2019 年同期を【㉝】万人以上上回った。前月に引き続き、一部市場において【㉚】を含む連休にあわせた訪日需要の高まりがみられたほか、【㉠】も、今月の押し上げ要因となった。対象となる 23 の国や地域の市場のうち 18 市場において 6 月として過去最高を記録したほか、【㉡】では単月過去最高を更新した。昨年 3 月に策定された第 4 次観光立国推進基本計画では 3 つの柱【㉢】が示され、これらの実現に向けて、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。一方で、上半期累計の出国者数は【㉟】万人とコロナ前の 2019 年の約【㉟】程度にとどまっている。

問 23. 上記㉞に入る数値に最も近いものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 294 ② 304 ③ 314 ④ 324

問 24. 上記㉠に入る数値に最も近いものを選びなさい。(配点:2 点)

- 25 1,678 ② 1,728 ③ 1,778 ④ 1,828

問 25. 2024 年の 1 月から 6 月の半年間の日本へのインバウンド数が、最も多かった国または地域はどれか。またその国または地域からのインバウンド数全体に占める割合はどの程度か。組み合わせとして正しいものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 中国、30% ② 韓国、25% ③ 台湾、22% ④ 香港、20%

問 26. 上記㉡に入る数値に最も近いものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 50 ② 100 ③ 150 ④ 200

問 27. 上記㉢と㉣に入る組み合わせとして最も適当ものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 春節、円安 ② ラマダン、査証免除措置 ③ ゴールデンウィーク、団体旅行の解禁  
④ 学校休暇、直行便・地方路線の増便

問 28. 上記㉤に入る組み合わせとして最も適当ものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 中国、韓国 ② 韓国、タイ ③ 台湾、米国 ④ 台湾、フィリピン

問 29. 上記㉥に入る 3 つの柱として最も適当でないものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 持続可能な観光 ② 消費額拡大 ③ 5 スターホテルの国立公園への誘致 ④ 地方誘客促進

問 30. 上記㉦と㉧には入る組み合わせして最も適当なものを選びなさい。(配点:2 点)

- ① 580 万人、6 割 ② 680 万人、7 割 ③ 780 万人、8 割 ④ 880 万人、9 割

※問 31～問 50 は、下記の A・B・C および D ホテルの営業状況をまとめた【表 1】および【表 2】をもとに答えなさい。ただし、20X3 年度（A・B・C）及び 20X4（D）年度における 1 年間のホテルの営業日の日数は、365 日とし、A・B・C・D ホテルの所在は同じ都市である。

【表 1】A・B・C・D ホテルの営業状況

ホテル	客室数 (室)	平均 客室 面積 (㎡)	平均 宿泊者 人数	稼働客室数 (販売客室 数)	客室売上 (千円)	料飲売上 (千円)	宴会売上 (千円)	その他売 上 (千円)	ホテル 総売上 (千円)	販売可能 客室数 (室)	客室稼働率 (%)	平均客室 単価 "ADR" (円)	販売可能客室数1室あた りの平均客室売上 "RevPAR" (円)	1室あたりの平均 宿泊者数 "DOR" (人)	客室 総面積 (㎡)
A	400	40	200,000	120,000	2,800,000	2,000,000	5,000,000	200,000	10,000,000	146,000	82.2%				16,000
B	500	20	200,000	160,000	2,300,000	1,500,000	4,200,000	-	8,000,000	182,500		14,375			10,000
C	600	15	220,000	200,000	2,000,000	100,000	-	-	2,100,000	219,000	91.3%				9,000
上記合計	1,500		620,000	480,000	7,100,000	3,600,000	9,200,000	200,000	20,100,000	547,500					35,000
D (20X4年度)	500	18	210,000	160,000	2,200,000	100,000	-	100,000	2,400,000	182,500				1.31	9,000

問 31. この都市の 20X3 年度平均稼働率に最も近い稼働率となったホテルを選びなさい。(配点:2 点)

- ① A ② B ③ C ④ いずれでもない

問 32. この都市の 20X3 年度の平均客室単価に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 14,000 円 ② 14,500 円 ③ 15,000 円 ④ 15,500 円

問 33. この都市の 20X3 年度の平均 RevPAR に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 12,850 円 ② 12,900 円 ③ 12,950 円 ④ 13,000 円

問 34. この都市の 20X3 年度の稼働客室 1 室あたりの平均宿泊者数（Double Occupancy Rate または同伴係数ともいう）に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 1.25 ② 1.30 ③ 1.35 ④ 1.40

問 35. この都市の 20X3 年度の平均客室面積はどれか。各ホテルの客室数も考慮に入れた加重平均値に最も近い値を選びなさい。(配点:2 点)

- ① 22 ㎡ ② 23 ㎡ ③ 24 ㎡ ④ 25 ㎡

問 36. 20X4 年度初日に D ホテルが新規参入した。同都市における 20X4 年度の需要客室数が前年度と変化がない場合、ホテル A、B、C の 3 ホテルの平均稼働率は、およそどれだけ減るか。(配点:2 点)

- ① 10% ② 20% ③ 30% ④ 40%

問 37. C ホテルと D ホテルの料飲部門は宿泊者のみを対象とした朝食営業のみの営業である。C ホテルの単価は一律 1,000 円である。20X3 年の C ホテルと 20X4 年のホテル D の喫食率が同じ場合に D ホテルの朝食単価に最も近い値を選びなさい。なお、D ホテルの初年度宿泊人数は 21 万人で、料飲売上は C ホテルの 20X3 年度と同額である。(配点:2 点)

- ① 1,000 円 ② 1,024 円 ③ 1,048 円 ④ 1,072 円

問 38. 20X4 年度の各ホテルの部門別売上実績は A、B、C の 3 ホテルが 20X3 年度と同じで、D ホテルも加えた全ホテルの部門別対売上 GOP 比率は宿泊が 50%、料飲 10%、宴会 30%、その他 20% とした場合、GOP 額が最も多いホテルを選びなさい。(配点:2 点)

- ① A ② B ③ C ④ D

問 39. 上記問 38 の前提で、対売上 GOP 率が最も高いホテルを選びなさい。(配点:2 点)

- ① A ② B ③ C ④ D

問 40. 各ホテルの宿泊部門（客室売上のみ計上）の償却前営業利益前の年間固定費は客室面積㎡あたりに 5 万円を乗じ、さらに客室数も乗じた額とする。また、それぞれのホテルの宿泊部門償却前営業利益前の対売上変動費比率は、A、B が 40%、C、D が 25% とする。20X4 年度の A、B、C の 3 ホテルの売上と経費構成が前年度と同じで、D ホテルも含めた 4 ホテルの経費構成も翌年度以降も変化しない場合、20X4 年度から翌年度の宿泊売上が前年比 4 割に落ち込んだ時、20X5 年度の宿泊部門の償却前営業利益が赤字に陥るホテルを選びなさい。(配点:2 点)

- ① A ② B ③ C ④ D

問 41. 上記問 40 の前提で、翌年度の宿泊売上が前年比 3 割に落ち込んだ場合、20X5 年度の宿泊部門の償却前営業利益が依然黒字のホテルを選びなさい。(配点:2 点)

- ① A ② B ③ C ④ D

問 42. 問 40、41 の経費構成の前提において、20X5 年度から外資ホテル運営会社に C ホテルを運営委託することとした。運営手数料は売上比 1%ベースフィーに宿泊部門償却前営業利益の 10%インセンティブフィーである。また別途年間システム料として 1 千万円が固定費として計上される。一方でエージェントへの依存率が減ったため対売上変動比率は 25%から 19%となった（上記の運営手数料ベースフィー控除前）。他の条件は変わらないとした場合、運営委託手数料控除後の宿泊部門の償却前営業利益は、運営受託以前の償却前営業利益と比べて凡そどの程度変化するか。（配点:2 点）

- ① 25 百万円減る ② 殆ど変化しない ③ 25 万円増える ④ 50 百万円増える

問 43. 問 42 を前提として、C ホテルのエージェントへの手数料は客室単価の 10%とした場合、外資ホテル会社に運営受託することで、エージェント依存率は前年度と比べて全宿泊売上比でどれ程減ったか。なお、エージェント手数料以外の変動費は、運営手数料ベースフィーを除き、変化しないものとする。（配点:2 点）

- ① 殆ど変化しない ② 30% ③ 60% ④ 90%

【表 2】20X4 年の C・D ホテルの客室タイプ別営業状況

ホテルC	平日 265 日					休前日 100 日					通年 365 日					
	稼働室	宿泊人	稼働率	売上(千円)	ADR(円)	稼働室	宿泊人	稼働率	売上(千円)	ADR(円)	稼働室	宿泊人	稼働率	売上(千円)	ADR(円)	
シングル	540	140,238	140,238	98.0%	1,402,380	10,000	37,862	37,862	70%	302,896	8,000	178,100	178,100	90%	1,705,276	9,575
ツイン	60	15,900	30,421	100.0%	206,700	13,000	6,000	11,480	100%	88,024	14,671	21,900	41,900	100%	294,724	13,458
合計	600	156,138	170,659	98.2%	1,609,080	10,305	43,862	49,342	73.1%	390,920	8,912	200,000	220,000	91.3%	2,000,000	10,000

ホテルD	平日 265 日					休前日 100 日					通年 365 日				
	稼働室	宿泊人	稼働率	売上(千円)	ADR(円)	稼働室	宿泊人	稼働率	売上(千円)	ADR(円)	稼働室	宿泊人	稼働率	売上(千円)	ADR(円)
シングル	400	84,800	84,800	80%	1,017,600	12,000	38,700	38,700	425,700	11,000	123,500	123,500			
ツイン	100	26,500	62,801	100%	397,500	15,000	10,000	23,699	100%			36,500	86,500	100.0%	
合計	500	111,300	147,601	84.0%	1,415,100	12,714	48,700	62,399	784,900		160,000	210,000	87.7%	2,200,000	13,750

問 44. 【表 2】において、20X4 年度の 365 日を平日 265 日と休前日（祝日、年末年始、お盆期間等含む）100 日と大別した場合、C ホテルの稼働状況は上記の通り、前年と同じであった。D ホテル 2.37 も上表の通りの場合、D ホテルの休前日の稼働率に最も近いのを選びなさい。（配点:2 点）

- ① 93% ② 95% ③ 97% ④ 99%

問 45. 上記問 44 の前提において、D ホテルの休前日の ADR に最も近いのを選びなさい。（配点:2 点）

- ① 12,000 円 ② 14,000 円 ③ 16,000 円 ④ 18,000 円

問 46. 上記問 44 の前提において、D ホテルの通年のシングルルームの稼働率に最も近いのを選びなさい。（配点:2 点）

- ① 65% ② 75% ③ 85% ④ 95%

問 47. 上記問 44 の前提において、D ホテルの通年のツインルームの ADR に最も近いのを選びなさい。（配点:2 点）

- ① 24,000 円 ② 21,000 円 ③ 18,000 円 ④ 15,000

問 48. 上記問 44 の前提において、D ホテルのシングルルームの休前日の稼働率に最も近いのを選びなさい。（配点:2 点）

- ① 97% ② 94% ③ 91% ④ 88%

問 49. 上記問 44 の前提において、D ホテルのツインルームの休前日の ADR に最も近いのを選びなさい。（配点:2 点）

- ① 28,000 円 ② 32,000 円 ③ 36,000 円 ④ 40,000 円

問 50. 上記の問 44 以降の前提において、C ホテルの総支配人として客室構成を変えるとしたら下記の選択肢のうち最も妥当なものを選びなさい。なお周辺市場のホテル需給関係に今後変化はないものとし、宿泊以外の他部門への影響もないものとする。（配点:2 点）

- ① シングルルームを減らしツインルームを増やす ② このままの客室構成で変えない  
③ シングルルームを増やしツインルームを減らす ④ これまでの前提条件では不明である